

# 平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

<b>①事務事業名</b>		事業コード 900706		都市下水道維持管理事業		担当 部課 グループ	部課コード	900700	TEL	2921-1022												
開始年度		45	年度	→	終了年度		年度	下水道維持課														
基本方針		維持管理第一-G																				
<b>②事業の概要</b>	事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加					根拠法令															
	分野別計画・指針						下水道法															
	関連・類似事業	雨水対策事業(下水道整備課)																				
	総合計画の体系	章	街づくり		節	下水道		基本方針	災害に強い下水道整備の推進													
事業開始の背景	砂川堀に隣接した住宅等の浸水被害が頻繁に発生したため、都市下水道及び調整池を都市の浸水対策として整備したものである。この機能を継続的に維持するため、昭和45年度に都市計画決定を行い、都市下水道維持管理事業に着手した。																					
<b>③事業の内容</b>	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)																					
	浸水の無い快適な都市環境を保持し、市民の安全で快適な生活を守るため、都市下水道及び調整池を適切に管理する。																					
	対象(誰を、何を対象としているのか)																					
	都市下水道及び都市下水道に付随する砂川堀北野調整池 <table border="1" style="float: right;"> <tr> <th>対象数</th> <th>単位</th> <th>平成 26 年度</th> <th>平成 27 年度</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2,070</td> <td>2,070</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>m</td> <td>m</td> </tr> </table>											対象数	単位	平成 26 年度	平成 27 年度			2,070	2,070			m
対象数	単位	平成 26 年度	平成 27 年度																			
		2,070	2,070																			
		m	m																			
事業の具体的な内容及び実施方法																						
①堆積土のしゅんせつ ②除草、樹木の剪定 ③施設の補修及び改良工事 ④降雨災害防止のための対策及び巡回																						
<b>④経費</b>	＜会計種別＞		企業会計		平成 26 年度 (千円)		平成 27 年度 (千円)		平成 28 年度 (千円)													
	予算現額				18,593		27,309		23,093													
	決算(見込み含む)				28,444		26,783															
	(非常勤特別職員) (臨時任用職員)		(人) (人)		(人) (人)																	
	正規職員人件費		4.18 人		36,454		4.05 人		35,073													
	事業費合計		64,898		61,856		61,856		23,093													
財源内訳		一般財源		64,898		61,856		23,093														
		国・県支出金																				
		その他( )																				
<b>⑤実績</b>	項目名		項目説明		単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標													
	活動実績		しゅんせつ		1年間にしゅんせつした堆積土の量	m <sup>3</sup>	135	310	310	310												
			除草		1年間に除草した面積	m <sup>2</sup>	68,410	68,410	68,410	68,410												
<b>⑥成果</b>	項目名		項目説明		単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標													
	成果指標		改善要望対応件数		件	目標値	3	2	2													
			(目標値=要望総数、実績=完了総数)		実績	1	1															
目標達成状況		どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	300	200	↑どちらかをチェックしてください														
<b>⑦改善点</b>	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)					(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析																
	しゅんせつ土の処分については、含水比を下げる工夫をし、受入単価の低い処分地に搬出することにより、仮置きしている土も処分を進めることができた。					調整池上流部の連柴柵(木製)の改修要望(H28. 2)が出されたが、年度末のため予算措置が間に合わず、施工できなかった。																
<b>⑧評価</b>	評価		事業実施方法(複数選択可)		理由		現業職員の減により委託事業を拡大する必要がある。															
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了		<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他		理由		天候の不安定な状況が続き、ゲリラ豪雨が増加していることから、しゅんせつの回数が増加している。調整池上流部の連柴柵の改修費。フェンスの更新費。															
	方今向後の		次年度予算		理由																	
<b>⑨価値</b>	(1)平成28年度に取り組んでいる状況					(2)今後の方向性																
	委託費の減少により、スクリーンの点検・清掃等、現業職員による作業が増加している。					近年、ゲリラ豪雨が頻繁に発生しており、都市下水道及び砂川堀北野調整池の雨水調整機能を確保するため、スクリーンの清掃やしゅんせつ量が増加傾向にある。また、老朽化したフェンスの改修、ボックスカルバートや護岸、開渠部分の老朽化も踏まえて補修・改築を行い、安全面や機能の充実を図る必要があることから維持管理費用の増額が見込まれる。このため、維持管理の効率化とコストを考慮しながら事業を継続する必要がある。																
評価日		H28.8.12		評価者職氏名		下水道維持課長 守谷 秀明																
<b>⑩環境影響</b>	有益な環境影響		5-2安心な都市空間の整備		有害な環境影響を及ぼす原因活動		産業廃棄物の排出		規制を受ける環境法令等													
									緊急事態													
										有 無												